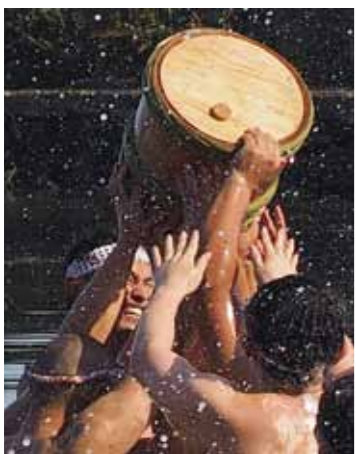




11人の男衆は神目神社で神事に臨んだあと、酒樽を担いで神社を出発。田植え前の田んぼをめざし「わっしょい」とかけ声を発しながら駆け出しました。田んぼで男衆は全身泥だらけになりました。時々足をとめて、樽の酒を飲みながら海に向かって走り、海岸のたき火で暖をとったあと、沖の方へ一気に走りだしました。天候に恵まれ、休日と重なったため多くの見学者が見守りました。海中で樽を追い駆ける姿に、大きな拍手が贈られました。



藤波・神目神社の春祭り「酒樽がえし」が4月2日に行われました。下帯姿の男衆が豊漁と豊作を願いっただるい、一斗樽を激しく奪い合いました。

# 酒樽がえし

豊漁・豊作願う伝統の春祭り